

中部運輸局
自動車交通部平成28年1月28日
定例記者懇談会発表資料中部運輸局自動車交通部
旅客第一課 平谷、伊藤
TEL:052-952-8035**「第3回中部バス事業人材確保・育成対策会議」を開催します。**

中部運輸局では、昨年3月にバス運転者の確保等に向けた対策を推進するため、標記会議を立ち上げたところです。

今般、これまでに、バス業界、バス事業者等関係者が取り組んできた人材確保に向けた取り組みを報告するとともに、今後の取り組み内容を検討するため、「第3回中部バス事業人材確保・育成対策会議」を開催することとしましたのでお知らせします。

記

1. 日時：平成28年2月2日（火）15：00～17：30
2. 場所：中部運輸局11階運輸大会議室
名古屋市中区三の丸2丁目2-1 名古屋合同庁舎第一号館
3. 議題（予定）
 - （1）バス事業の人材確保に向けた取り組み報告
 - （2）バス事業の人材確保に向けた今後の取り組み
 - （3）その他
4. 構成員
別紙構成員名簿のとおり

※取材に関して聴講可能ですが、カメラ撮りは冒頭挨拶までとさせていただきます。

※「みんなの交通応援プロジェクト」とは、

交通に関する課題解決に関係者一丸となって取り組んでいく地域のため、「生活交通」「観光交通」「担い手確保・育成」の3つを柱とした「みんなの交通応援プロジェクト」を推進しています。

http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/min_pro/index.html

中部バス事業人材確保・育成対策会議 構成員名簿

【バス事業者】

鈴木 豊信 名鉄バス株式会社 取締役
風間 直幸 しずてつジャストライン株式会社 専務取締役
中島 克幸 岐阜乗合自動車株式会社 取締役グループ総務人事部長
花満 亨 三重交通株式会社 企画部長
若吉 誠一郎 京福バス株式会社 経営推進室部長

【バス協会】

古田 寛 公益社団法人愛知県バス協会 専務理事
平野 洋一 一般社団法人静岡県バス協会 専務理事
山田 芳喜 公益社団法人岐阜県バス協会 専務理事
青木 周二 公益社団法人三重県バス協会 専務理事
野本 章夫 公益社団法人福井県バス協会 専務理事

【厚生労働省】

吉田 克年 愛知労働局職業安定部職業安定課長

【国土交通省】

諏訪 達郎 中部運輸局自動車交通部長
平谷 守 中部運輸局自動車交通部旅客第一課長
古橋 靖弘 中部運輸局愛知運輸支局輸送担当首席運輸企画専門官
中山 國光 中部運輸局静岡運輸支局輸送・監査担当首席運輸企画専門官
野口 欣司 中部運輸局岐阜運輸支局輸送・監査担当首席運輸企画専門官
加藤 恒昭 中部運輸局三重運輸支局輸送・監査担当首席運輸企画専門官
岡田 英雄 中部運輸局福井運輸支局輸送・監査担当首席運輸企画専門官

人材確保・育成に向けた今後の展開①

事業者団体に求められる取組

合同就職説明会・
セミナーの開催

- ◎合同就職説明会
 - ・地域において合同で実施（他運送業種との合同も検討）
 - ・女性や若年層をターゲットとした個別取組も重要
 - ・バス事業の社会的役割、地域貢献をテーマとした講演
- ◎事業者セミナー
 - ・個々の事業者に求められる取組をテーマとし開催

業界イメージアップを
目的としたイベントの拡充

- ◎地域住民と一体とした取組
 - ・バスの絵コンクール
 - ・バス乗り方・バリフリ教室 等
- ◎地域の学校と一体とした取組
 - ・出前講座
 - ・社会科見学の積極的売り込み
- ◎ドライバーコンテストの開催

運輸局・支局が支援

- ◎関係機関との連携・調整
- ◎「バス運転者の採用・定着相談窓口」の設置

個々の事業者に
求められる取組

運転手の待遇改善・
意欲向上の対策

- ◎労働条件の改善
 - ・経営改善による賃金の向上
 - ・安全運行・労働時間の基準遵守
 - ・運転者の運用合理化・効率化

- ◎意欲・士気向上の対策
 - ・従業員満足度(ES)指標の導入
 - ・優良運転者に対する表彰制度の導入
 - ・ドライバーコンテストの参画・参加

- ◎女性が働きやすい社内整備
 - ・働きやすい勤務体系の構築
 - ・女性目線での施設・設備の整備

人材確保・育成に向けた今後の展開②

合同就職説明会の開催

- 時期は、新卒・若者を対象とするならば、進路を決める前に開催することが有効（面接等の選考活動・採用内定の解禁日に注意）。
- 開催場所は、経済事情・地域特性を考慮し各地域で実施することが好ましいが、取組初年度であるため、まずは各県で一カ所開催。
- 他モード（トラック等）事業と合同で開催し、大規模に実施することも効果的。
- 女性をターゲットとして個別に開催（個別にブース設置）し、既に活躍している女性運転手からのアピールが有効。
- バス業界が社会的役割を担い、地域へ貢献していることをテーマとし講演する。
- 開催にあたっては、あらかじめ地元学校への周知・働きかけが重要。

セミナーの開催

- 各種内容で実施している事業者を対象したセミナーなどで、経営者・人事担当者を対象とした「人材確保や人材育成対策」を目的としたプログラムを追加。講師には各県労働局担当者・有識者やコンサル等へ依頼、受講した事業者の個々の取組につなげる。
- 各種補助、助成金の制度説明 ・女性（若年）の働きやすい職場環境方策 ・従業員満足度（ES）指標の導入 等

イベント等の拡充

○地域住民と一体とした取組

- 地域一体としたイベントを開催（参画）し、バスを身近に触れ、あわせて公共交通の重要性を地域住民に認識してもらうことを目的。
- バスの乗り方・バリアフリー教室の拡充（バスの日に拘らず地域イベント時等に積極的に参画）。
- 将来を担う子供に対しては、バスに興味・親しみを持ってもらうため、イベントの充実を図る。
・バスの絵コンクール（優秀作品の表彰・バスラッピング） ・バス関連グッズの販売 ・記念撮影会 等

○地域の学校と一体とした取組

- 地域の学校で行う社会科見学の積極的に売り込み。バス利用促進とセットの取組として、公共交通の重要性・地域社会におけるブランド力をアピール。

○ドライバーコンテストの開催

- バス運転手の意欲・士気向上にとどまらず、業界全体で育成・評価していることを世間に広く認知してもらうことを目的。